

消防団たずね歩き



連日、連夜、西区の安全・安心のために警戒パトロール実施!

西消防団長
北井道男

●放火火災(疑い)が連続発生

6月3日に発生した建物火災以来、週末を中心に連続放火火災が発生したことで7月5日、西消防署が「放火火災防止推進重点地区」の設定を必要とする消防署に指定されました。それを受け、地元自治会、消防団、行政機関等が一体となって放火火災の防止に取り組むこととなりました。

●「放火火災対策調整会議」立ち上げ

7月7日、西消防署をはじめ、西区役所、西警察署等行政機関と地元自治会(神出町、平野町)、西消防団が一堂に会し、第1回目の「放火火災対策調整会議」を開催し、西区で特に連続放火火災が集中している平野町、神出町を重点地域に指定しました。そして、自治会によるチラシ、ポスターの掲示、消防署、警察署のパトロールに加え、「自分たちの地域は自分たちで守る」との思いから西消防団もパトロールを開始しました。重点地区の地元である平野支団及び神出支団においては、指定後、直ちに複数班が毎日パトロールを実施しました。

●全支団警戒パトロール実施

重点地域を平野町、神出町に指定しまし

たが、「放火火災がいつ西区全体に拡大するかもしれない」との思いから、西消防団として各支団長にパトロールを実施するよう指示をし、西区全7支団の警戒パトロールが開始されました。

●地域がひとつになり、効果を発揮

地域が放火火災の撲滅を目的としてひとつになり、チラシ、ポスターの掲示、警戒パトロールの実施(消防団・自治会の青パト(青色回転灯装備車)・消防署・警察署)、西区内協力事業所の車両へ安全・あんしんパトロールの実施マグネット・ステッカーの掲出、西区安心安全eメール及び消防署のホームページによる広報等、地域あげて実施した対策が功を奏し、週末に集中していた火災をはじめ、一連の放火火災も現在のところ発生していません。



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

